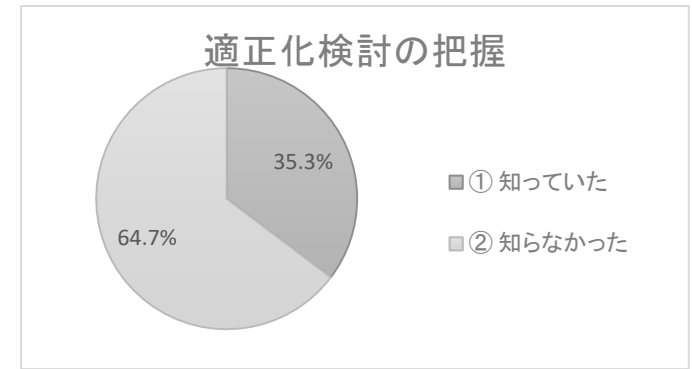
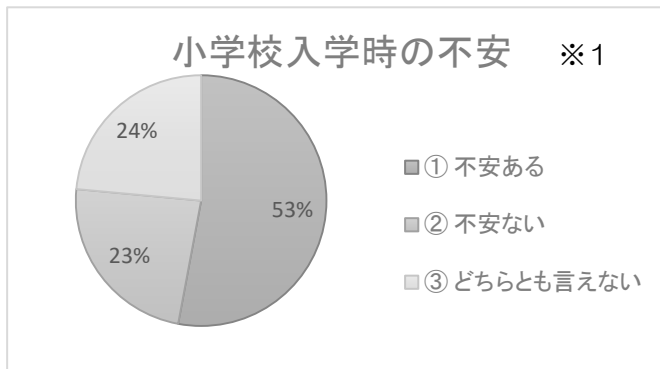
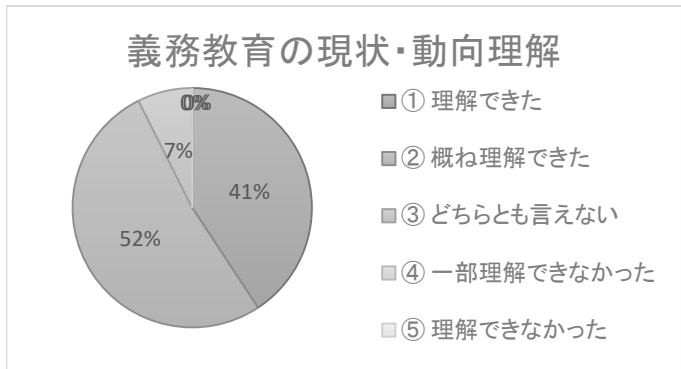
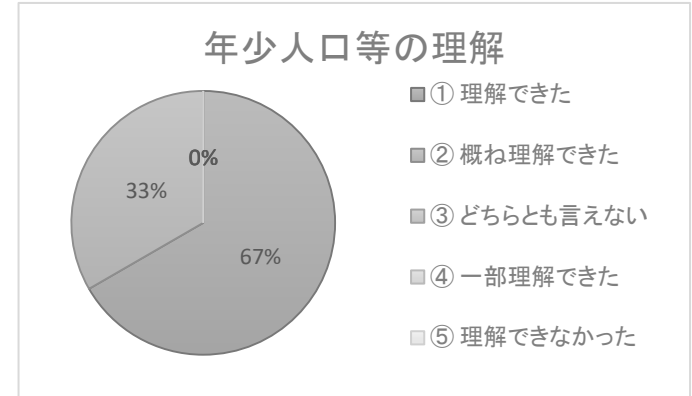


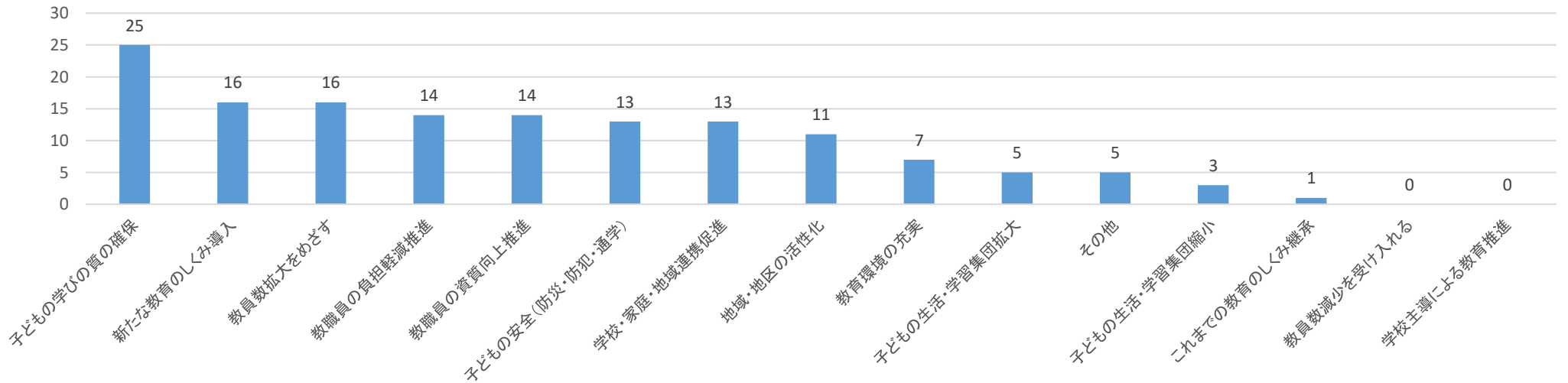
「これからの義務教育を考える集い」参加者アンケート

資料4-3

開催日	令和3年10月10日(日)
	午前10時から
	午後1時30分から
開催場所	オリナス つながるスタジオ
対象	就学前教育保護者代表17名 就学前教育施設代表者10名



学習環境規模適正化を考える上で必要な視点 ※2



「これからの義務教育を考える集い」参加者アンケート

小学校入学時の不安 ※1	No.	具体的内容
	1	子どもの数が多くなると、子ども一人ひとりの理解が難しくなるのではないか。学校規模が大きくなることへの心配(きめ細かさ・目が届く等)
	2	子どもの友だち関係や通学面の安全確保(一緒に登下校する子どもが減ってきている)
	3	クラス替えがない校区であるため、6年まで同じクラスで大丈夫か心配。(統合に賛成)
	4	通学路の安全確保
	5	学童保育の質の確保
	6	ICT化推進に対する不安(通信環境整備・ネットいじめなど)
	7	学年1学級しかないので、人間関係の基礎を学ぶことに対して不安
	8	地域に友達がいない。(歩いて登下校することに不安)
	9	学習面に不安(経済的に厳しい家庭としては、義務教育としての学びをしっかり保障してほしい。)

その他意見 ※2	No.	その他 意見
	1	小中一貫校の施設形態の違い(施設一体型と施設分離型など)の違いが学びに影響することはないか。
	2	西脇市の教育についての見通しが必要 慎重になることは大切であるが今の子ども達への対応は早くしてほしい。
	3	教育の方向については、国・県・市の方針が先にある。時代の変化に対応していきたい。
	4	就学前教育においては、心の根っこにあたる部分を十分に育てて貰いたい。
5	家の中ではじっくり意見を聞くことができない。実際に集まって会議を行うことが大切であると思う。	

「これからの義務教育を考える集い」参加者意見・質問・感想

午前の部 (参加者15人)	No.	質問・意見・感想
	1	西脇市の子どもが世界で活躍できるような教育が必要だ。人口減少社会の中で、西脇市をどう発展させていくのか、子どもが地域に定着してくれるように先進的な取組が必要であり、効果的な施設の在り方、人数配置を検討してほしい。
	2	人口の一極集中化が進み、地方が疲弊している。西脇市でも同じ現状がある。地域のまちづくりを考えて教育の在り方を検討してほしい。
	3	子どもの出生数の減少痛感した。子どもが減ったからどうするではなく、保育料の無償化、保育園の充実など子育て施策を充実して、西脇市に住みたいと思えるまちづくりをしてほしい。
	4	こども園では、「遊び倒す」ことを大事にしている。子どもに精一杯の体験を通じていろんなことを身に付けさせ、友達と一緒に体験することを教育の根幹としている。小学校でも同じだと思う。
	5	教育において、時代とともに変わらなければならないこと、変わらないことがある中、教育環境を検討するうえで、5年10年ではなく、20年、30年と長いスパンを考慮して検討してほしい。
	6	学習環境規模適正化の検討について他市の検討事例を教えてください。
	7	人口減少に驚いている。学級数よりも学級の人数が気になる。低学年では大人数では困ることもあると思うので1年生は30人学級にするなど取り組みはできないか。
	8	縦の集団規模を確保するための、小中一貫校のメリットがわからない。
	9	人口が少ないのが魅力で西脇に引っ越した。各こども園の保護者や先生にアンケート調査をしてほしい。
	10	5歳児の子どもが年下の園児の面倒を見ることによりやりがいを感じている。子どもの成長には、縦の集団にはメリットがあると思う。
	11	こども園1クラスの人数と比較すると、1クラス35人学級は子供を十分見てもらえるのか不安がある。国の35人学級は変えられないが、加配で職員を配置してもらえないか。
	12	子どもたちを中心に考えることを大事にしてほしい。
13	多くの意見を聞く努力とともに、慎重に検討を進めていただきたい。	

No.	質問・意見・感想
1	西脇市は少子化にどう対応していくのか、市としてのビジョンを示してほしい。
2	人口減少が続いているが、将来を見越した学習環境の検討が必要である。安易にどこどこを学校を統合するのではなく、継続可能な学習環境となるよう十分な検討をしてほしい。
3	芳田こども園は、地域密着型で運営しておりコミュニティスクールがあつているのではないかと考えている。コミュニケーション能力を育てるために、同世代だけでなく、地域の様々な世代の方と話し合う機会を設けてほしい。
4	近所に同級生がいないのは不安。親としては心配事が増え相談する部分でも仲間が多い方がいいと思う。
5	学校統合した場合、通学手段がどうなるか心配です。
6	自分達が学校に通っていた時と違う現状が理解できた。教育の質とは何をもって質とするのか。クラスの人数は多いほうが良いと思う。
7	教師の確保と教育の質は比例していると思う。また、学校の規模が大きくなればほど、教師のレベルが教育レベルに影響が出るのではないかと思う。
8	1クラスの人数が増えすぎると先生の目が届くかが心配。現在学校では子ども同士、地域の人にも子どもの名前を知ってもらえているが、大きい学校では親どうしても顔を知らないことがあると聞いており心配である。
9	少人数のこども園から大規模学校へ行くには不安がある。1クラスの大小にかかわらず、先生が子供を全体を見てもらえる学習環境にしてほしい。
10	小さい規模の小学校から大きな中学校に行くのは子供親とも不安があるため、小中一貫校はメリットがある。反面、親としては少人数でのびのび生活してほしいと思っている。
11	地域で小学校統合のうわさがあり、保護者の間で、通学面、立地面を大変心配されている。
12	学校では、社会に出たときの社会性、コミュニケーション能力などを身に付けてほしい。子どもの成長に応じて小さな集団から大きな集団で経験を積んでいくことが大切だと思う。
13	子どもたちが希望を持てる学校づくりをしてほしい。既存校舎を活用することだが、学校統合に当たり新築も含め、子どもが学校を新しく作りあげていく気持ちを持てるようにしてほしい。
14	保護者として学校園任せにせず、結果を求めるだけでなく課程を大切に子育てをしたい。
15	就学前教育は、小中学校の教育ともっとつながりを持つ必要があると思う。就学前教育が取り残されていく感じがしている。
16	検討会議の委員メンバーに、こども園園長をメンバーに入れるべきであったのではないか。
17	こども園での特別支援が必要な子どもへの対応のために人員の確保が必要である。
18	コロナ禍対応やICT化への対応等で職員が疲弊している現状がある。教職員の負担度を考慮しつつ検討を進めるべきである。
19	こども園での先生の多忙化している。子どもへの対応で職員研修等の時間が取れない現状の中、職員には質の向上はプレッシャーに感じている。カリキュラムを作成するのは難しい。
20	主体的で対話的な学びのあり方を目指すとのことだが、学校園ごとの取り組みとするのではなく、市全体としての方向性を示すべきである。
21	0歳からの教育に取り組んでほしい。また、少子化に伴い学校統合がいいのか判断できないが、教育委員会だけではなく西脇市としてどうしていくのかしっかり議論していただきたい。

午後の部
(参加者12名)